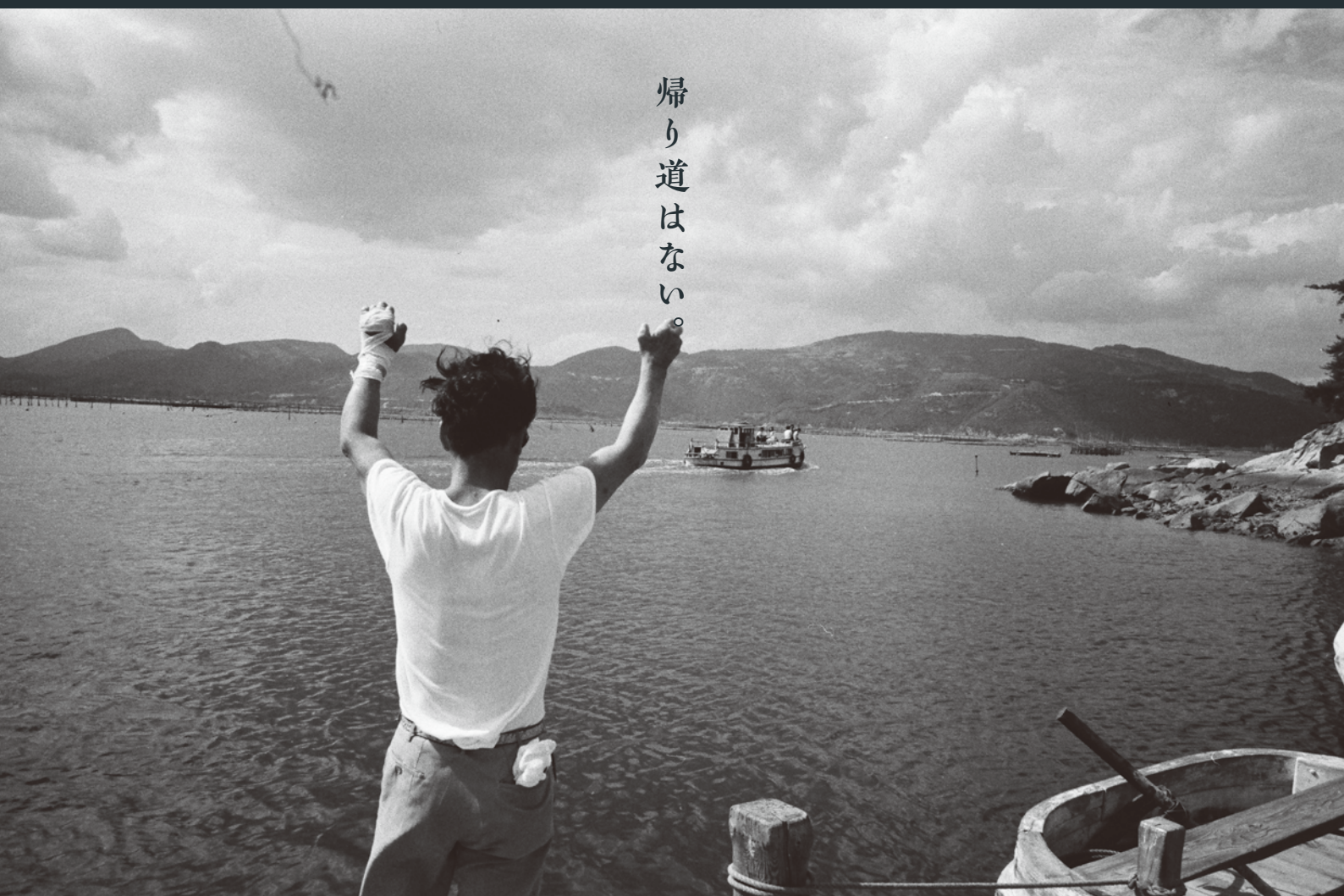


その壁の向こう側

— 写真が語るハンセン病問題の真実 —



帰り道はない。

2026年1月14(水)～1月27日(火)

10:00～18:00 (初日は12時から、最終日は16時まで)

会場: 早稲田大学ワセダギャラリー

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-6-1 27号館 地下1階 TEL. 03-5272-4783

主催: 国立ハンセン病資料館

本展は、ハンセン病患者に対する強制隔離が行われていた時代、「壁の向こう側」である療養所に足を踏み入れた写真家・趙根在が記録した作品8点を紹介します。1996年に強制隔離を定めた「らい予防法」が廃止され、2001年に裁判で国の人権侵害が認められましたが、ハンセン病に対する偏見差別は今も続いています。本展がハンセン病問題について関心をもていただく機会になれば幸いです。

アクセス

● 東京メトロ東西線早稲田駅から徒歩5分

お問い合わせ

国立ハンセン病資料館事業部事業課 〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13 TEL: 042-396-2909

関連イベントのご案内

国立ハンセン病資料館・早稲田大学グローバルヘルス研究所共催セミナー

「ハンセン病問題を考える ～グローバルな文脈から日本の経験を捉え直す」

■ 日時: 2025年1月14日(水) 17:00-18:40 ■ 場所: 早稲田大学 早稲田キャンパス15号館101号室

■ 内容: 大高俊一郎(国立ハンセン病資料館)「日本におけるハンセン病問題の歴史と現状」 宮内しおん(早稲田大学大学院生)「東南アジアにおけるハンセン病問題の現状」

■ パネリストからのコメント、質疑応答 ■ 定員500名、事前予約不要、先着順、参加費無料(学外の方の参加可)